

令和 8 年 10 月 6 日
国 土 交 通 省
九 州 地 方 整 備 局

大分港大在コンテナターミナル
CNP 認証(コンテナターミナル) 認証書交付式を行います。

国土交通省港湾局が創設した制度「CNP 認証 (コンテナターミナル) ※」の運用が昨年度 (令和 7 年度) より開始されています。今般「大分港大在コンテナターミナル」は、同制度に基づき「レベル 1 +」で認証されましたので、認証書の交付式を行います。

■開催日時

令和 8 年 10 月 13 日 (火) 16:30~

■開催場所

東福第二ビル 1F 101 号室 (福岡市博多区博多駅東 2-9-1)

■認証対象ターミナル

大分港大在コンテナターミナル

■CNP 認証レベル

レベル 1 +

■取組状況

- ・大分港港湾脱炭素化推進計画の策定
- ・インバータ制御方式のガントリークレーンの導入
- ・管理棟の省エネルギー

※CNP 認証 (コンテナターミナル) は、CNP (カーボンニュートラルポート) の形成の推進を目的とし、コンテナターミナルにおける脱炭素化の取り組みを客観的に評価する認証制度です。詳細は下記 URL・右記 QR コードをご確認ください。https://www.mlit.go.jp/kowan/kowan_fr4_000088.html



【問い合わせ先】

国土交通省 九州地方整備局 港湾空港部 港湾計画課 小池、椎原 TEL 092-418-3358

★ 取材のお申し込みは「別紙」を参照下さい。

「大分港大在コンテナターミナル CNP認証(コンテナターミナル)認証書交付式」

取材登録

※取材をご希望の場合は、以下フォームから10月8日(木) 12時までにお申し込み下さい。

※当日は16:15までに会場へお越し下さい。受付は交付式会場内でございます。

※カメラ撮影は可能です。取材の際、報道機関名が確認できる取材者証(腕章)等の着用をお願いいたします。

【取材申し込みフォーム】

<https://forms.cloud.microsoft/r/yYu6MruM5n>



申込締切：令和8年10月8日(木) 12時

ご参考：当日の式次第（令和8年10月13日(火) 16:30～17:00）

1. 開式
2. 挨拶（九州地方整備局 副局長）
3. 認証書交付
4. 認証取得者ご挨拶（大分県 様、株式会社大分国際貿易センター 様）
5. 閉式

※閉式後、記念撮影を行います。

※次項以降はご参考です。

令和8年8月25日

港湾局産業港湾課

CNP認証（コンテナターミナル）

～名古屋港・大分港・境港・千葉港のコンテナターミナルを新たに認証します～

国土交通省港湾局では、コンテナターミナルにおける脱炭素化の取組を客観的に評価する認証制度「CNP認証（コンテナターミナル）」に基づき、新たに4つのターミナルを認証します。

ターミナルの評価を通じ、港湾全体でのCNP形成に向けた機運醸成が図られ、CNPに取り組む企業等や港湾自体のブランド力が向上することを期待できます。

1. 「CNP認証（コンテナターミナル）」とは

- ・国土交通省では、脱炭素化に配慮した港湾機能の高度化や水素・アンモニア等の受入環境の整備等を図るカーボンニュートラルポート（CNP）の形成を推進しています。
- ・CNPの形成を推進する取組の一つとして、コンテナターミナルの脱炭素化に向けた取組の実施状況を見える化し、レベル1～5までの多段階で客観的に評価する認証制度「CNP認証（コンテナターミナル）」を運用しています。
- ・これまでに11ターミナルを認証していますが、今回、新たに以下の4ターミナルを認証するものです。

2. 認証ターミナルの概要

- ・名古屋港飛島ふ頭南側コンテナターミナル：レベル4++
- ・大分港大在コンテナターミナル：レベル1+
- ・境港国際コンテナターミナル：レベル1
- ・千葉港コンテナターミナル：レベル1



※認証ターミナルの概要の詳細は別紙をご参照ください。

※所轄の地方整備局において、以下日程で認証書交付式を行います。詳細については、各地方整備局の報道発表資料をご参照ください。

9月1日（火）千葉港コンテナターミナル認証書交付式

関東地方整備局報道発表資料

https://www.pa.ktr.mlit.go.jp/kyoku/03info/03kisyu/2026/portandair_20260825.pdf

9月4日（金）名古屋港飛島ふ頭南側コンテナターミナル認証書交付式

中部地方整備局報道発表資料

<https://www.pa.cbr.mlit.go.jp/storage/003/202608/260825-p-cnp-ninsho-kofushiki.pdf>

（境港国際ターミナルの認証書交付式は近日開催予定）

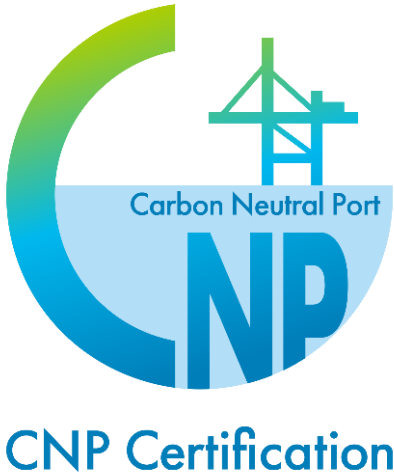
（大分港大在コンテナターミナルの認証書交付式は10月以降に開催予定）

【問い合わせ先】 港湾局 産業港湾課 CNP推進室 清水、富田
代表：03-5253-8111（内線：46-468）、03-5253-8672（直通）
メールアドレス：hqt-cnp-certificate@gxb.mlit.go.jp

大分港大在コンテナターミナル

【参考】

脱炭素化の取組主体	主な取組内容
大分県	大分港港湾脱炭素化推進計画の策定
	インバーター制御方式のガントリークレーンの導入
株式会社大分国際貿易センター	管理棟の省エネルギー



[ターミナル概要]

大分港大在コンテナターミナルは、1996年に供用を開始し、総面積22ha、水深10m・14mの岸壁（総延長450m）を備え、5万トン級のコンテナ船の接岸に対応しています。

また、外貿定期コンテナ航路として韓国、中国及び台湾とを結ぶ3航路、国際フィーダー航路として神戸港及び北九州港（ひびきコンテナターミナル）を結ぶ2航路が就航しており、東九州における国際物流拠点として重要な役割を担っています。

2025年3月に策定された「大分港港湾脱炭素化推進計画」に基づき、インバーター制御方式のガントリークレーンの導入や管理棟の省エネルギー化などに取り組んでおり、大分港におけるカーボンニュートラルポート（CNP）の形成に貢献しています。

認証レベル
Level 1+

(認証日 令和8年8月25日)

CO₂排出量原単位
13.2 kgs CO₂ / TEU



大分港港湾脱炭素化推進協議会



インバーター制御方式のガントリークレーンの導入
(全2基)



管理棟の省エネルギー（空調設備）

Ozai Container Terminal, Oita Port

【参考】

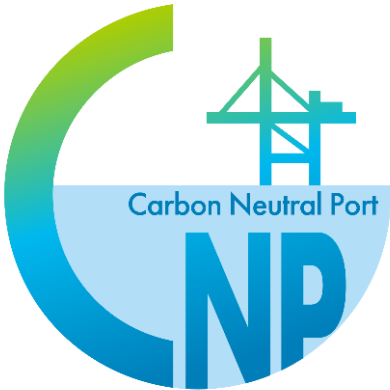
Stakeholders of decarbonization	Main initiatives
Oita Prefectural Government	Formulation of the Oita Port Decarbonization Promotion Plan
	Introduction of Inverter-Controlled STS Cranes
Oita International Trade Center Co.,Ltd.	Energy Conservation in the Administration Building

[Terminal Overview]

The Ozai Container Terminal at Oita Port commenced operations in 1996. It covers a total area of 22 hectares and is equipped with berths totaling 450 meters in length, with water depths of 10 meters and 14 meters, allowing it to accommodate container vessels of up to 50,000 tons.

The terminal currently operates three international regular container routes connecting Oita with South Korea, China, and Taiwan, as well as two international feeder routes connecting with Kobe Port and Kitakyushu Port (Hibiki Container Terminal). It plays an important role as an international logistics hub in eastern Kyushu.

Based on the Oita Port Decarbonization Promotion Plan formulated in March 2025, the terminal is implementing decarbonization initiatives, including the introduction of STS cranes with inverter control systems and energy conservation in the administration building. Through these initiatives, the terminal contributes to the development of a Carbon Neutral Port (CNP) at Oita Port.



CNP Certification

Certification Level
Level 1+
(Certification date: Aug. 25, 2026)

CO₂ Emission per unit
13.2 kgs CO₂ / TEU



Formulation of the Oita Port Decarbonization Promotion Plan



Introduction of Two Inverter-Controlled STS Cranes



Energy Conservation in the Administration Building(Air-Conditioning System)

港・ターミナル名	認証レベル	各レベル取得要件	ターミナルの 取組状況	推奨項目(+)の詳細
名古屋港飛島ふ頭南側 コンテナターミナル	レベル 4 + + +	・港湾脱炭素化推進計画の作成	○	・構内 A G V の脱炭素化(※) ・管理棟の省エネ及び緑化 ・LNG バンカリングへの対応
		・インバータ制御方式のガントリークレーンの導入 (導入率 80%以上)	導入率 100%	
		・低・脱炭素型トランスファークレーン・ストラドルキャリア の導入 (導入率 80%以上)	導入率 96%(※)	
		・L E D 照明の導入 (導入率 80%以上)	導入率 100%	
		・環境に配慮した船舶への入港インセンティブの導入	○	
		・ゲート前の渋滞、ヤード内の滞留対策の実施	○	
大分港大在コンテナターミナル	レベル 1 +	・港湾脱炭素化推進計画の作成	○	・管理棟の省エネ
境港国際コンテナターミナル	レベル 1	・港湾脱炭素化推進計画の作成	○	-
千葉港コンテナターミナル	レベル 1	・港湾脱炭素化推進計画の作成	○	-

※ トランスファークレーン及び構内 A G V が自動化されているため、取得要件を満たすものとして評価。

※制度概要や認証ターミナルの情報については、C N P 認証ポータルサイト(下記 Q R コード) に掲載しています。



CNP 認証ポータルサイト

https://www.ml.it.go.jp/kowan/kowan_fr4_000088.html

